



「新年度に想う」

新潟県老人福祉施設協議会会長

横山けやき苑施設長 近藤和義

会員の皆様のご支持をいただき、再度会長職を勤めさせていただくことになりました。昨年のリーマンショック以来、垂直といわれるほどに景気が落ち込み、大変厳しい状況が続いておりますが、その中でも新たな胎動が見られております。例えば、日本経済を牽引し続けてきた自動車産業では、現状のままで生産の回復は難しいことから、開発が進まなかったハイブリッド車の本格的生産に軸足を移し始めました。これは、地球環境の保護、更には若者の車離れや燃費重視と言う観点から、改革の必要性に迫られた結果ではないかと思われます。

私たちの介護の世界でも新たな胎動が見られ、職員の処遇改善策として補正予算が組まれる方向にあり、従来の福祉後退の政策が見直されつつあります。これらは私たちにとっては大いに歓迎すべきことであり、是非改革してもらいたいことであります。

一方、医療の「医」は「癒」に通じるものがあると言われますが、介護も同様でその根底には「癒」の精神がなければなりません。この精神なくして介護は成り立たず、利用者からの支持も得られません。これに介護技術や労働環境の向上が加わって初めて業界全体のレベルアップが図られるのではないのでしょうか。

老施協の今年の新たな試みとして、新潟県から、ふるさと雇用事業、緊急雇用創出事業等を受託いたします。これに伴い、本会として初めて労働者派遣事業を開始するわけですが、介護現場の労働力不足の解消に少しでも役立てば、そして利用者の皆様に質の高いサービスが提供できれば、本会の目的が果たせるのではないかと考えております。その他に、認知症介護実践リーダー研修を新潟県と平行して、そして地域包括支援センター職員研修を新規に行うことになり、本会を通じて国や県の政策実現を支援できれば、本会の存在意義は更に高まるものと考えます。

本会の最大の事業である「研究大会」は、今年は第5ブロックの上越市を中心に開催される予定です。研究大会は本会最大の行事として、毎年実行委員会を立ち上げて実施しております。一般の皆様もご参加いただく講演会や、日頃の研究の成果を発表していただく分科会等も企画いたしますので、会員の皆様の積極的なご参加を期待しております。

会員の皆様におかれましては、現場の忙しさに加えて常に新しい知識や技術の習得が必要になって参りますが、「癒」のある現場、「働き甲斐」のある職場の実現を目指して頑張っていきたいと思っております。そのために本会も全力を尽くします。宜しくお願いいたします。

Contents

老施協会長挨拶.....	1
理事就任者挨拶.....	2

平成21年度部会役員名簿.....	3～7
施設長リレーコラム	8

理事に就任して想うこと



寺泊老人ホーム
所 長

古川原 彦 一

我が施設は、入所・利用者一人ひとりの人格を尊重し、施設生活だけで自己完結することなく、自己決定の尊重を基本におきながら、できる限りの日常生活の自立と地域との関わりでの回復を目標に、入所・利用者本人の持っている心身機能及び社会生活機能を個々の状況に合わせて働きかけ、社会の一員として健康で和やかな生活ができるよう援助することを運営・処遇計画の基本方針とした養護老人ホームであります。

当施設も、入所・利用者の心身機能は介護保険

制度発足当時とは大きく様変わりし、現在では要支援を除く要介護者が60%を超える状況となっており、平成18年度の介護保険制度の改正によって新養護老人ホームへ大きく転換し、いかにして介護保険制度を有効に活用するかが、施設運営にも大きく影響しております。

新養護老人ホームへの転換の際は、(社)新潟県老人福祉施設協議会をはじめ、(社)全国老人福祉施設協議会の適切な助言やマニュアル(標準)の提示等に大きく助けられたことでもあり、このたびの理事就任にあたり、老人福祉施設の施設長と言っても名ばかりで、福祉に関する知識・学識は皆無に等しいところですが、唯一の宝と思っている住民全体の奉仕者としての意識で勤めてきた40年間の役所勤めの経験による得手の部分を見つけて、県老協という組織に対しても何らかの手助けができればと考えておりますので、格別なご指導とご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

理事に就任して想うこと



特別養護老人ホーム
かんばらの里 施設長

佐 藤 裕

平成21年3月25日に開催された第2回総会において、第2ブロックの伊賀勝理事の後任としてご承認をいただき、4月から就任いたすこととなりました。

正直なところ、浅学非才の私ごときが勤まる役であろうかとの不安を払拭できずにいますが、皆様のご指導をいただきながら新潟県の高齢者福祉向上のため職責を全うする努力をしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

さて、近頃街中を眺めてみると、「〇〇の里」とか「社会福祉法人△△」と書かれた、大小様々な福祉車両が走り回っている光景をよく目にするようになりました。

それだけ多くの福祉関係施設が建てられ、介護サービスの基となるインフラの整備が進んできているのだな、と頼もしく感じます。

しかしその一方で、しばしば新聞の読者欄に老後の不安、家族の介護についての苦悩を訴える投書が載りますし、テレビの特集番組等で自分の仕事を辞めてまで懸命に介護をしておられる方々の現状も拝見することがあります。居宅のケアマネージャーは、そんな生の場面に常に目の当たりにしているわけですが、我が国においては安心な人生を設計できる安定した社会からじわじわとかけ離れて行っているようにも感じます。

経済的な問題から年金、医療、福祉等の社会保障制度が今後どうなるのかが非常に不安な世の中です。

「介護は大丈夫か？」と、もうすぐ介護認定の申請が必要となりそうな高齢の私の父からいつもそう聞かれますが、「もちろん大丈夫。」と答える根拠に老協協の存在があります。この答えが嘘にならないように皆さんと共に努めていけたら、と思っています。

平成21年度 部会役員名簿

ブロック部会

<第1ブロック>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	市 川 宏 昭	特別養護老人ホームうずらはし	
副部会長	遠 山 忠 六	(有)下越介護サービス	
運営委員	杉 原 智	養護老人ホームあやめ寮	
"	加 藤 真由美	デイサービスセンター東蒲の里	
"	田 村 正 一	特別養護老人ホームすもとの里	
"	田 巻 清 美	特別養護老人ホーム羽衣園	
"	桐 生 正 美	小規模多機能型居宅介護 アイカ	

<第2ブロック>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	佐 藤 裕	特別養護老人ホームかんばらの里	
副部会長	二 瓶 英 子	軽費老人ホーム有明ハイツ	
運営委員	市 井 栄 吉	特別養護老人ホームはまゆう	
"	笠 巻 淳以智	特別養護老人ホーム黒埼の里	
"	佐 藤 正 枝	地域包括支援センター阿賀北	
"	泉 さおり	特別養護老人ホーム白鳥の里	
"	内 山 光 子	ゆうりん居宅介護支援センター	
"	西 本 円	グループホームサンライフ中野山	

<第3ブロック>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	大久保 靖	特別養護老人ホームみしま園	
副部会長	山 保 司 郎	特別養護老人ホーム白ふじの里	
運営委員	小 林 啓 一	特別養護老人ホーム縄文の杜関原	
"	古川原 彦 一	寺泊老人ホーム	
"	高 橋 是 司	在宅介護支援センター白ふじの里	
"	加 藤 和 彦	ホームヘルプステーション中之島	
"	酒 井 満	特別養護老人ホームサンホーム	
"	浅 妻 清一郎	グループホーム白ふじ	

<第4ブロック>…地域密着型事業所部会 該当無し

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	吉 田 安 行	特別養護老人ホームあおりの里	
副部会長	貝 瀬 房 子	つむぎデイサービスセンター	
運営委員	桜 井 忍	養護老人ホーム南山荘	
"	福 原 泰 郎	地域包括支援センターつまりの里	
"	小 林 忠 雄	特別養護老人ホーム恵福園	
"	春 日 由里江	健康倶楽部十日町	
"	—		
"	長谷川 誠 一	特別養護老人ホーム三好園しんざ	

<第5ブロック>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	松 矢 光 一	特別養護老人ホームさくら聖母の園	
副部会長	小 池 博	特別養護老人ホームむつみ荘	
運営委員	恩 田 義 男	特別養護老人ホームみなかみの里	
"	橋 本 進	ケアハウス糸魚川翠明苑	
"	吉 澤 善 明	特別養護老人ホームよねやまの里	
"	樋 口 亮 成	特別養護老人ホームみやまの里	
"	中 里 雅 之	特別養護老人ホームいなほ園	
"	難 波 正 弘	特別養護老人ホーム沖見の里	

施設・事業所部会

<特別養護老人ホーム・短期入所施設部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
運営委員	市 川 宏 昭	特別養護老人ホームうずらはし	第1ブロック
"	佐 藤 裕	特別養護老人ホームかんばらの里	第2ブロック
"	小 林 啓 一	特別養護老人ホーム縄文の杜関原	第3ブロック
"	吉 田 安 行	特別養護老人ホームあおりの里	第4ブロック
"	恩 田 義 男	特別養護老人ホームみなかみの里	第5ブロック

<養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	二 瓶 英 子	軽費老人ホーム有明ハイツ	第2ブロック
副部会長	古川原 彦 一	寺泊老人ホーム	第3ブロック
運営委員	杉 原 智	養護老人ホームあやめ寮	第1ブロック
"	桜 井 忍	養護老人ホーム南山荘	第4ブロック
"	橋 本 進	ケアハウス糸魚川翠明苑	第5ブロック

<デイサービスセンター部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	山 保 司 郎	デイサービスセンター白ふじの里	第3ブロック
副部会長	貝 瀬 房 子	つむぎデイサービスセンター	第4ブロック
運営委員	加 藤 真由美	デイサービスセンター東蒲の里	第1ブロック
"	笠 巻 淳以智	老人デイサービスセンター黒崎の里	第2ブロック
"	吉 澤 善 明	柿崎第1 デイサービスセンター	第5ブロック

<地域包括・在宅介護支援センター部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
運営委員	田 村 正 一	在宅介護支援センターすもとの里	第1ブロック
"	佐 藤 正 枝	地域包括支援センター阿賀北	第2ブロック
"	高 橋 是 司	在宅介護支援センター白ふじの里	第3ブロック
"	福 原 泰 郎	地域包括支援センターつまりの里	第4ブロック
"	小 池 博	柏崎市北地域包括支援センター	第5ブロック

<訪問介護・看護・リハビリテーション事業所部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	加 藤 和 彦	ホームヘルプステーション中之島	第3ブロック
運営委員	桐 生 正 美	小規模多機能型居宅介護 アイカ	第1ブロック
"	泉 さおり	特別養護老人ホーム白鳥の里	第2ブロック
"	小 林 忠 雄	特別養護老人ホーム恵福園	第4ブロック
"	松 矢 光 一	特別養護老人ホームさくら聖母の園	第5ブロック

<居宅介護支援事業所部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
運営委員	田 巻 清 美	特別養護老人ホーム羽衣園	第1ブロック
"	内 山 光 子	ゆうりん居宅介護支援センター	第2ブロック
"	酒 井 満	特別養護老人ホームサンホーム	第3ブロック
"	春 日 由里江	健康倶楽部十日町	第4ブロック
"	樋 口 亮 成	特別養護老人ホームみやまの里	第5ブロック

<地域密着型事業所部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
運営委員	遠 山 忠 六	有限会社 下越介護サービス	第1ブロック
"	西 本 円	グループホームサンライフ中野山	第2ブロック
"	浅 妻 清 一郎	グループホーム白ふじ	第3ブロック
"	—		第4ブロック
"	中 里 雅 之	特別養護老人ホームいなほ園	第5ブロック

職員部会

<特別養護老人ホーム・短期入所施設部会 介護職員部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	鶴 巻 博 文	特別養護老人ホーム愛松園	第1ブロック
副部会長	北 嶋 一 代	特別養護老人ホームいなほ園	第5ブロック
運営委員	佐 藤 由 利	特別養護老人ホーム有明園	第2ブロック
"	竹 石 摩 美	特別養護老人ホームつかのめの里	第3ブロック
会 計	遠 藤 奈 緒 美	特別養護老人ホームうおの園	第4ブロック

<特別養護老人ホーム・短期入所施設部会 看護職員部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	高 橋 晃 則	えんじゅの郷デイサービスセンター	第5ブロック
副部会長	小 林 由 紀 子	特別養護老人ホームうらだての里	第3ブロック
運営委員	圓 山 ひ と み	特別養護老人ホーム白鳥荘	第1ブロック
"	渡 邊 春 美	特別養護老人ホーム横雲の里	第2ブロック
"	須 貝 裕 美 子	特別養護老人ホームとっさか	第1ブロック
"	小 林 裕 子	特別養護老人ホーム虹の里	第2ブロック
"	渡 辺 美 智 子	特別養護老人ホームいっぶく	第3ブロック
"	遠 藤 愛 子	特別養護老人ホームうかじ園	第4ブロック
"	米 持 志 津 子	特別養護老人ホームいたくら桜園	第5ブロック

<特別養護老人ホーム・短期入所施設部会 生活相談員・介護支援専門員職員部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
運営委員	本 間 光 子	特別養護老人ホーム二の丸	第1ブロック
"	酒 井 栄 一	特別養護老人ホーム愛松園	同 上
"	伊 藤 麻 子	特別養護老人ホームあわやまの里	第2ブロック
"	山 保 綾 子	特別養護老人ホーム白寿荘西	同 上
"	立 川 和 彦	特別養護老人ホームさわたりの郷	第3ブロック
"	大 矢 麻 衣 子	特別養護老人ホームこぶし園	同 上
"	湯 本 文 昭	特別養護老人ホーム小栗田の里	第4ブロック
"	庭 野 友 和	特別養護老人ホーム三好園	同 上
"	勝 田 瞳	特別養護老人ホーム三和愛宕の園	第5ブロック
"	ライム 美 和 子	特別養護老人ホームほほ笑よしかわの里	同 上

<特別養護老人ホーム・短期入所施設部会 栄養・調理職員部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	小 幡 郁 子	特別養護老人ホームうかじ園	第4ブロック
副部会長	鰐 渕 恵	特別養護老人ホーム横山けやき苑	第3ブロック
"	関 信 介	特別養護老人ホームにしかりの里	第5ブロック
会 計	青 柳 い づ み	特別養護老人ホームとっさか	第1ブロック
"	岩 崎 美 津 江	特別養護老人ホームはぐろの里	同 上
書 記	栗 林 恵 子	特別養護老人ホーム黒埼の里	第2ブロック
運営委員	高 橋 あ け み	特別養護老人ホーム康和園	同 上
"	渡 辺 貴 子	特別養護老人ホーム桜井の里	第3ブロック
"	柳 敏 子	特別養護老人ホームほくほくの里	第4ブロック
"	園 田 大 輔	特別養護老人ホームみやまの里	第5ブロック

＜特別養護老人ホーム・短期入所施設部会 事務職員部会＞

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	稲 村 育 子	特別養護老人ホーム新潟あそか苑	第2ブロック
副部会長	武 藤 哉	特別養護老人ホーム菅名の里	第1ブロック
運営委員	山 崎 隆 博	特別養護老人ホームうずらはし	同 上
"	中 山 優 理 子	特別養護老人ホームにいがた新生園	第2ブロック
"	矢 川 由 紀 子	特別養護老人ホームつかのめの里	第3ブロック
"	安 達 孝 之	特別養護老人ホーム桐原の郷	同 上
"	柳 田 有 紀 子	特別養護老人ホーム小栗田の里	第4ブロック
"	村 山 悦 子	特別養護老人ホーム七川荘	同 上
"	梨 本 淳	特別養護老人ホーム太陽と緑の家 今泉	第5ブロック
"	引 場 秀 和	特別養護老人ホーム名香山苑	同 上

＜養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス職員部会＞

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	蓮 池 浩 隆	養護老人ホーム桜花寮	第1ブロック
運営委員	渡 辺 国 彦	ケアハウスことぶき	第2ブロック
"	村 松 朝 子	ケアハウス西長岡	第3ブロック
"	根 津 智 彦	養護老人ホーム妻有荘	第4ブロック
"	室 谷 悦 子	ケアハウス糸魚川翠明苑	第5ブロック

＜デイサービスセンター部会 介護・看護職員部会＞

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	町 田 有 示	デイサービスセンター新寿園	第2ブロック
運営委員	阿 部 正 幸	デイサービスセンターつきおかの里	第1ブロック
"	杉 林 民 恵	長岡市デイサービスセンターサンパルコなかのしま	第3ブロック
"	南 雲 希 子	湯沢町デイサービスセンター	第4ブロック
"	秋 山 淳	大島デイサービスセンター	第5ブロック

＜デイサービスセンター部会 生活相談職員部会＞

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	川 住 美 穂	デイサービスセンターあじさいの里	第3ブロック
副部会長	長谷川 義 子	五泉中央デイサービスセンター	第1ブロック
運営委員	泉 彰 彦	老人デイサービスセンター白鳥の里	第2ブロック
"	田 村 豪	デイサービスセンターファミール川西	第4ブロック
"	矢 野 利 仁	みなかみの里デイサービスセンター	第5ブロック

＜地域包括・在宅介護支援センター職員部会＞

役職名	氏 名	所 属	備 考
運営委員	宇 野 文 子	新発田中央地域包括支援センター	第1ブロック
"	櫻 井 馨	新潟市地域包括支援センター石山	第2ブロック
"	米 田 幸 恵	長岡市地域包括支援センターこしじ・おぐに	第3ブロック
"	下 村 春 美	魚沼市地域包括支援センター	第4ブロック
"	福 田 順 子	柏崎市北地域包括支援センター	第5ブロック

＜訪問介護・看護・リハビリテーション事業所職員部会＞

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	佐 藤 むつ子	とうかん福祉サービス	第1ブロック
運営委員	渡 辺 春 美	特別養護老人ホームあしぬま荘	第2ブロック
"	棚 橋 泉	特別養護老人ホーム縄文の杜関原	第3ブロック
"	関 谷 光 子	ほくほくの里ホームヘルパー	第4ブロック
"	松 井 ふさ子	上越市社会福祉協議会	第5ブロック

<居宅介護支援事業所職員部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
部 会 長	竹 前 京 子	特別養護老人ホーム陽だまり苑	第1ブロック
副部会長	神 田 和 美	特別養護老人ホーム横雲の里	第2ブロック
運営委員	小 林 由 香	介護プランセンターふそき	第3ブロック
"	大 淵 進	特別養護老人ホームあおりの里	第4ブロック
"	山 田 宥 人	特別養護老人ホームにしかりの里	第5ブロック

<地域密着型事業所職員部会>

役職名	氏 名	所 属	備 考
運営委員	岩 野 優 子	グループホームありがとうの家	第1ブロック
"	龍 田 紗智子	グループホーム関屋おもと園	第2ブロック
"	佐 藤 みどり	グループホームけやき	第3ブロック
"	—	—	第4ブロック
"	嶋 田 俊 子	コミュニティハウス楽・らく寿の里	第5ブロック

※平成21年5月28日現在

「ねんきん定期便」 のお知らせ

保存版



平成21年(2009年)3月



現役加入者の皆さまに4月から「ねんきん定期便」を 誕生月にお送りいたします。

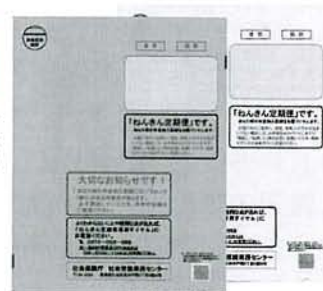
年金記録問題につきましては、皆さまにご迷惑をおかけしております。改めて心よりお詫び申し上げます。
この問題の解決のため、昨年までに「ねんきん特別便」をお送りして、皆さまの年金記録を正しいものにするための
取組を進めております。加えて4月からは現役加入者の方々に「ねんきん定期便」をお送りするなど、新たな取組を
始めます。引き続き皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

Q 「ねんきん定期便」とは何ですか？



A 年金記録を定期的に確認できるよう、国民年金・厚生年金の現役加入者の方
にお送りするものです。平成21年4月から、2色の封筒により、それぞれ次の方の
誕生月にお送りします。

- オレンジ色の封筒：年金記録に「もれ」や「誤り」のある可能性の高い方
 - 水色の封筒：それ以外の方
- 必ずご確認をお願いします。



取組
これまで

「ねんきん特別便」

年金記録の確認・訂正のためすべての現役加入者・年金受給者の方
にお送りしました(平成19年12月から平成20年10月まで)。未回答
の方は、ご回答をお願いいたします。

21年4月

これから
の取組

現役加入者の方

「ねんきん定期便」

保険料の納付実績や年
金額の見込みなどを年
に一度ご確認いただく
ため誕生月にお送りし
ます。



年金受給者の方

- 「ねんきん特別便」による年金記録の確認・訂
正を引き続き進めます。また、年金記録が訂
正されてから正しい年金をお支払いするま
での期間の短縮に努めます。
- インターネットでの年金記録照会をご利用
いただけるようになります。
- 厚生年金受給者の方への「標準報酬のお知らせ」
の送付を、本年中に開始する予定です。



5月の大型連休も晴天に恵まれ、行楽地での賑わいが放送されていました。その大型連休中に以前より痛めていた左半身が悪化して4月にオープンした救急センターを受診しました。新聞でかなり混んでいると聞いていましたが、予想以上の混雑で小児科は3時間待ちで、あちこちで子供達が泣き出して騒然としていました。

整形で待つこと2時間、医師も看護師さんも忙しそうに次々と患者さんをさばっていました。こんなに忙しくては医師の対応もそれなりだろうと覚悟していましたが、若くてやさしい先生が、私の痛みをよく聞いて下さり、適切なアドバイスもしてくれました。結果は老化による骨の変形でした。症状は変わらないのに帰りの車の中はとてすがすがしいものでした。病院の対応や医師のやさしい言葉でこんなに患者の気持ちは変わるものかと身をもって体験した1日でした。

施設に勤めて17年目に入りますが、利用者の方々にこんな接し方を自分はしてきたらどうかと反省しました。

ただ傾聴してもらうことが、どんな治療よりも心の平静を保つことができる一番の方法だと実感しました。

日々利用者の手を握り、あるいは肩をさすりながら話を聞く、これだけで安心して施設で暮せるならば自分の仕事のひとつとして毎日実行していこうと考えました。

施設ではさまざまな職種の人達が働いていますが、直接介護の職員だけでなく玄関に居る事務職員も全員が笑顔で接することができたら利用する方も笑顔が生まれてくると思います。

7月1日オープン予定のサテライト特養を開始します。地域密着型の名前どおりで町の中で以前暮していた場所に戻る施設です。利用者の笑顔を増やし、地域の方々の安心を支える施設として職員一同努力していくつもりです。



編集後記

「事務局に勤務して」

4月から事務局に勤務致しました。

特に年度初めは行事が多く、おまけに仕事が一歩で自分の立つ位置がわからず苦労しました。事務局は会員の皆様がスムーズに仕事ができるように、情報の提供や研修企画を通じて皆様のサポートするのが仕事と思っているのですが、忙しさに紛れてついざんざん扱いをしているような気がして、反省しきりの毎日です。問題がありましたら何でも結構ですので事務局に持ち込んでください。それらを解決することによって事務局のノーマルが蓄積されます。宜しくお願い致します。

話は変わりますが、最近体力の衰えを感じるようになりました。1日1万歩くらい平気で歩き健脚といわれていたのですが、通勤の往復1時間が辛くなり自転車になりました。

老化現象は徐々にではなく、階段を降りるようになってくるような気がします。今より1段階降りたらどうなるのか心配です。もう一度鍛え直してアンチエイジング致します。もちろん仕事もがんばります。

(長谷川 記)